

ウェアラブル環境制御

【背景】

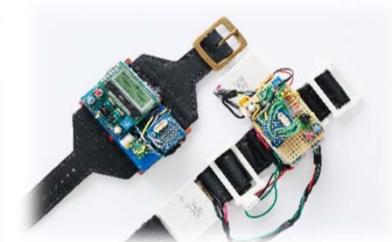
個人の局所冷暖環境を制御可能な“ウェアコン”はどんな シチュエーション（睡眠中、作業中、室内・外、etc）で ポジティブ効果があるかは十分把握されていない。また、 個人特性に合った制御や、装置のウェアラブル化が必要。

【課題】

- 効果測定のためのデータ収集
- 各種センサ連携（心拍センサ等）による最適制御
- エアコンとの連携による、最適制御



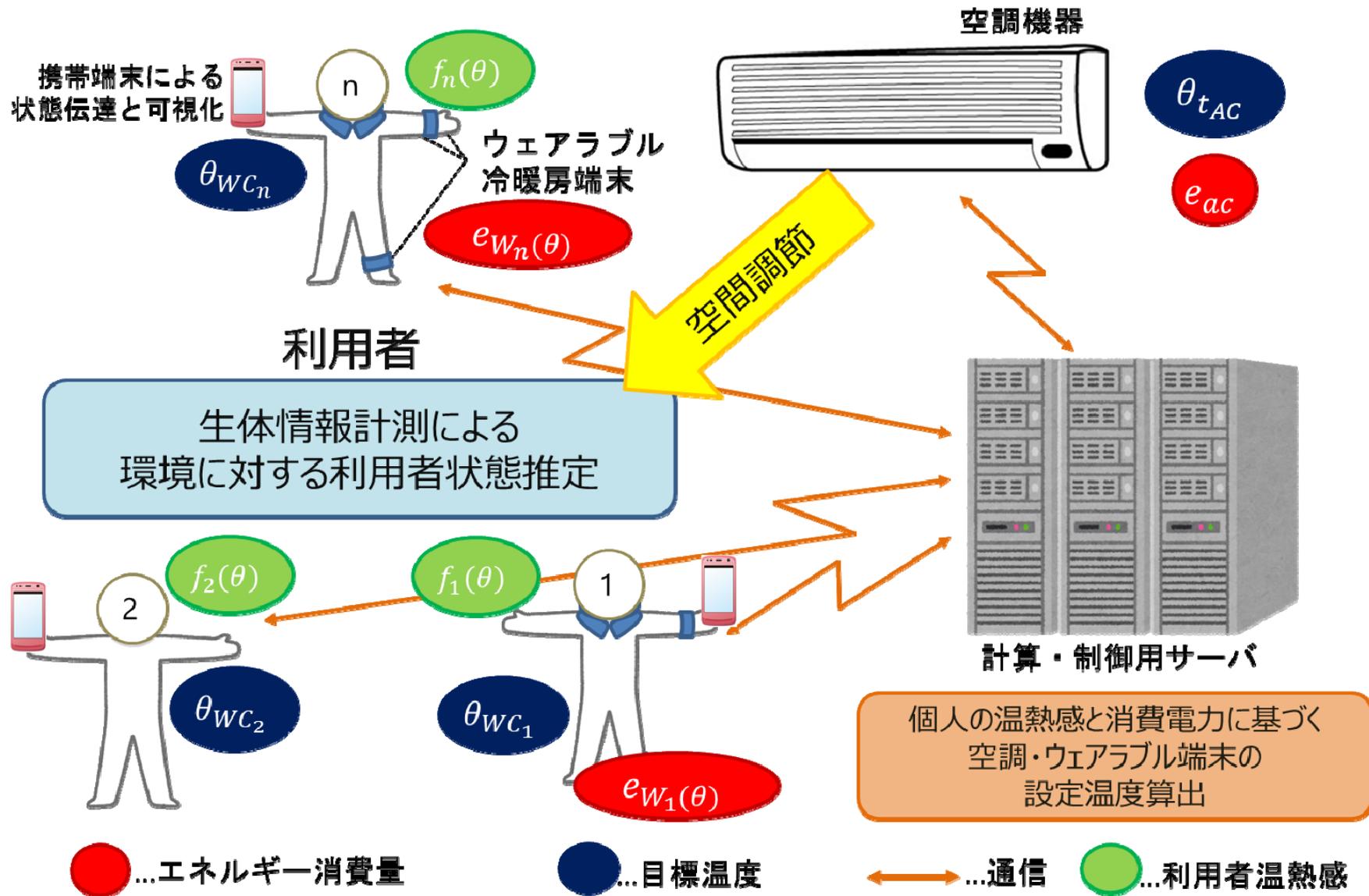
Wearcon



Pico-Band

[生体信号を用いたウェアラブル装置の制御]

ウェアラブル環境制御



w_1 ウェアラブル端末 ac エアコン θ 温度をはじめとして環境変数



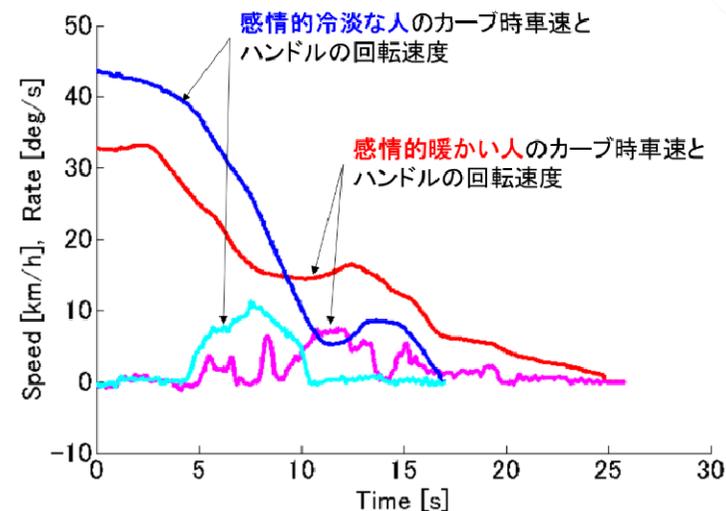
【背景】

運転手の心理特性や状態（覚醒度・集中度、etc）を把握することは、次世代運転システムを設計するうえで重要
運転信号（アクセル、ブレーキ、ハンドル、etc）、環境情報（天候、路面、etc）と、運転手状態（心拍、汗、etc）のビッグデータから有用な知識を抽出



【課題】

- 運転操作と、性格・生体反応の関係
- 音声対話カーナビに合ったGUI開発・評価
- 車内環境快適制御と運転手の覚醒維持



生体情報と車の運転行動
特性の相関分析